

1. ロシアにおける出張の概要

(1) 露連邦運輸省 ユルチク次官との会談

日時：4月26日（木）15:10～16:00

場所：ロシア・モスクワ（露連邦運輸省）

概要：運輸分野における日露協力について意見交換を実施し、ロシア運輸省と国土交通省が引き続き緊密に連携していくことにより、運輸分野での日露協力を一層発展させていくことを確認しました。

(2) 日本・ロシアフォーラムへの出席

日時：4月27日（金）13:30～16:00

場所：ロシア・モスクワ（ホテル・メトロポールモスクワ）

概要：観光・極東パネルディスカッションで登壇したあきもと副大臣は、日露の観光交流の現状を紹介した上で日本としてはインバウンドの市場としてロシアを大変重視しているとともに、ロシアへのアウトバウンドも旅行業界と共に推進していく方針であること等を説明しました。続いて、“Enjoy My Japan” グローバルキャンペーンのロシアでのローンチを発表し、コンセプト動画を放映しました。



スピーチを行うあきもと副大臣



“Enjoy My Japan” グローバルキャンペーンのロシアでのローンチをするあきもと副大臣

(3) 露連邦観光庁 コロリョフ副長官との会談

日時：4月27日（金）16:10～16:40

場所：ロシア・モスクワ（ホテル・メトロポールモスクワ）

概要：現在の日露観光交流人口の増加傾向を維持できるよう、引き続き日露間で密接に協力していく方針で一致しました。また、双方とも個人旅行客の一層の受け入れ拡大を目指していく方針を確認し、ロシア側からは最近日本人個人旅行客向けの受入プログラムを開始した旨の説明がありました。



露連邦観光庁コロリョフ副長官との会談
（あきもと副大臣：左前から2番目）
（コロリョフ副長官：右前から2番目）



記念品交換
（あきもと副大臣：左）
（コロリョフ副長官：右）

(4) JNTO 主催レセプションの開催

日時：4月27日（金）19:00～21:00

場所：ロシア・モスクワ（ホテル・メトロポールモスクワ）

概要：JNTO 主催でロシア側関係者など 400 名規模のレセプションを開催し、冒頭、観光庁・JNTO を代表してあきもと副大臣が挨拶を行いました。



レセプション会場の様子



挨拶をするあきもと副大臣

2. ミャンマーにおける出張の概要

(1) ミャンマーにおける港湾EDI完成式典

日時：4月30日（月）9:00～10:30

場所：ミャンマー・ヤンゴン（ホテル・パークロイヤル ヤンゴン）

概要：式典は「港湾EDIシステム」を運用するミャンマー港湾公社が主催し、タン・スィン・マウン運輸・通信大臣、ニ・アウン ミャンマー港湾公社総裁、丸山駐ミャンマー日本国大使をはじめ多数の両国関係者が参列し、盛大に開催されました。

式典で、あきもと副大臣からは「港湾EDIシステム」の本格運用による物流効率化の実現と両国のますますの発展への期待が述べられました。



祝辞を述べるあきもと副大臣



式典への参列者



タン・スィン・マウン運輸・通信大臣より記念品を授与するあきもと副大臣

(2) ミャンマーにおける会談の概要

①タン・スィン・マウン運輸・通信大臣

日時：4月30日（月）10:40～12:00

場所：ミャンマー・ヤンゴン（ホテル・パークロイヤル ヤンゴン）

概要：港湾分野においては、ティラワ港で現在 ODA により整備中の多目的ターミナル及び隣接する現在調査中のターミナルプロジェクトについて、その進捗に向け、引き続き相互協力していくことで認識を共有しました。

航空分野においては、ハンタワディ新国際空港、ニャンウー空港、航空レーダーについて意見交換を行い、引き続き航空分野の協力を進めていくことで認識を共有しました。

鉄道分野においては、ヤンゴン・マンダレー鉄道、ヤンゴン環状鉄道整備及びヤンゴン都市鉄道に係る事業性調査について意見交換を行い、相互に協力してこれらのプロジェクトを着実に推進していくことで認識を共有しました。



あきもと副大臣（中央右側）と
タン運輸通信大臣（中央左側）

②ピョー・ミン・テイン ヤンゴン地域政府首相

日時：4月30日（月）14:00～14:40

場所：ミャンマー・ヤンゴン（ヤンゴン地域政府首相府）

概要：首相からはヤンゴン市内で問題となっている交通渋滞について言及があり、渋滞解消に向けて引き続き協力していくことで認識を共有しました。

また、あきもと副大臣からはヤンゴンの都市開発に貢献することが期待されるヤンゴンマッピングプロジェクトについて言及し、相互に協力して円滑に進めていくことで認識を共有しました。



あきもと副大臣（右側手前から2番目）
とピョー地域政府首相（左側中央）